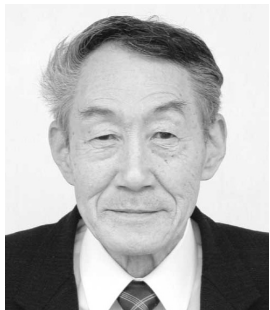


秋の叙勲・褒章、大臣表彰、岩手日報文化賞 7個人1団体が晴れの栄誉に輝く

旭日双光章 地方自治（元村議会議員）



阿部 文右衛門さん
（宮守町・70歳）

村議会議員として、昭和四十二年九月から平成十二年十二月までの九期二十九余にわたり在職し、この間、総務常任委員会副委員長、総務教民常任委員会副委員長などを歴任し、産業振興、学校・社会教育、老人福祉などの充実に尽力。平成七年九月から平成十一年八月までは議長を務め、豊富な経験を生かし議会審議の重責を果たすとともに議会運営の向上に貢献。

また、平成十一年九月から平成十二年十二月まで村監査委員として、公平・公正な行政執行の監視と財政基盤の強化に手腕を発揮しました。

旭日双光章 地方自治（元市議会議員）



小向 秀五郎さん
（上郷町・80歳）

市議会議員として、昭和四十六年四月から平成十五年四月までの五期二十年にわたり在職し、この間、農林商工常任委員会委員、議会運営委員会委員、産業建設常任委員会委員長などを歴任し、議会運営の向上や市勢の振興、市民福祉の向上に努めました。

また、市茸類主産地推進協議会副会長、県なめこ振興協議会副会長などを務め、シイタケやナメコなどの栽培技術の向上と販路拡大に尽力し、栽培農家の所得向上に貢献。現在も県食品衛生協会副会長などを務め地域振興に貢献しています。

瑞宝双光章



菊池 孫之丞さん
（綾織町・74歳）

昭和二十九年十二月市消防団に入団以来、四十二年余にわたり消防活動に精励し、副分団長、分団長などを歴任。平成六年四月から平成九年一月に勇退するまで副団長を務め、消防団幹部として常に時代の要請に対応した近代消防を目指し、消防団員の資質向上、婦人消防協力隊の育成などに尽力しました。

また、市議会議員として、昭和五十四年四月から平成十一年四月までの五期二十年にわたり在職し、この間、議長、副議長、議会運営委員会委員長、産業建設常任委員会委員長などを務め、議会運営の向上に貢献しました。

瑞宝双光章 地方自治（元市収入役）



多田 良城さん
（早瀬町一丁目・74歳）

昭和三十一年七月市職員となり、以来昭和六十二年四月に辞職するまで三十年余にわたり、地方自治、市政の伸展に尽力しました。この間、市民センター社会教育部長、図書館博物館開設準備室長、市民センター文化部長、企画財政課長、企画管理参事などを歴任。

また、平成二年五月から平成十四年四月までの十一年余にわたり収入役を務め、市長の補助者として、職員を指揮監督しながら意思疎通を心掛け、市政全般にわたる課題を解決するなど、市民福祉の向上、市政の発展に貢献しました。

瑞宝単光章



常川 貴英さん
（材木町・67歳）

将来を担う児童福祉事業の重要性を認識し、自らの障害を克服して昭和三十三年十二月に独学で保育（保育士）資格を取得。昭和三十五年四月から平成八年三月に退職するまでの三十六年余にわたり、児童の保護育成に尽力しました。この間、岩滝保育園を振り出しに、市内八力所の保育園に勤務。昭和四十一年四月から十一年間は主任保育士として、保育の向上に努めました。昭和五十二年四月から退職するまでの十九年間は園長として、多様な保育需要に対応すべく保育所運営に尽力するなど、児童福祉の向上に貢献しました。

文部科学大臣 表彰受賞

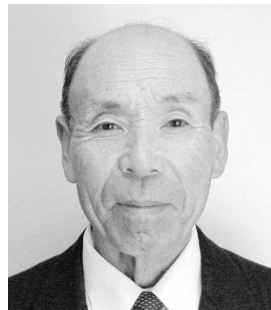


登坂 慶子さん
（六日町・79歳）

登坂慶子さんは、文化庁の本年度地域文化功労者として、文部科学大臣表彰を受賞しました。地域文化功労者は、芸術文化の振興や文化財の保護に尽力した個人・団体を表彰するもので、本年度は全国で八十二個人・団体が選ばれ、登坂さんは芸術文化関係での受賞となりました。

登坂さんは、箏曲の演奏団体「生田流正派雅楽明会」大師範として、五十年以上にわたり後進の指導育成に尽力。市芸術文化協会会長のほか、県芸術文化協会理事を務めるなど、当市のみならず岩手の芸術文化の振興に貢献しています。

藍綬褒章 更生保護（保護司）



阿部 光雄さん
（宮守町・76歳）

遠野地区保護司として、昭和五十六年四月から現在に至るまでの二十四年余にわたり、青少年の更生保護に尽力。社会を明るくする運動などの犯罪予防活動に積極的に参画し、更生保護事業の充実発展に貢献しています。

また、昭和五十年七月から平成二年七月までの十五年間は、村農業委員として地域の農業経営の改善に努め、平成元年四月から平成十三年三月までの十二年間は、村社会福祉協議会評議員として地域福祉の向上に尽力するなど、青少年の健全育成や地域づくりに貢献しました。

岩手日報 文化賞受賞



小友町の氷口御祝保存会は、第五十八回岩手日報文化賞（学芸部門）を受賞しました。

岩手日報文化賞は、社会、学芸、産業部門で岩手の生活文化の発展や伝統の継承に寄与した個人・団体を表彰するものです。同保存会は、平成三年に国立劇場で開催された「アジア太平洋うたとおどりの祭典」への出演をきっかけに結成。今年、紀尾井ホールで開催された「第二十一回東京の夏音楽祭2005」に出演するなど、江戸時代末期から伝わると思われる「御祝」の継承と全国への発信活動が高く評価されての受賞です。